

広報 染谷くにか

稲敷市議会議員 自由民主党茨城県連青年局 女性部副部長

討議資料

「あすなる空の会」が発足しました

成田空港の機能強化と地域住民との共生を目指して設立した団体です。空港問題を「賛成・反対」の対立ではなく、地域課題として捉え、市民の声を行政や関係機関へ届けることを目的として活動していくものです。

柴崎の新宿共同利用施設で意見交換会を開催しました

多くの市民のご参加ありがとうございました。ご意見から今後の目標を以下のようにまとめました。

1. 茨城県及び関係自治体が四者協議へ参加できるよう働きかける。
2. 成田空港関連交付金の活用について提案を行う。
 - 。 定住促進区域の拡充
 - 。 第一種区域と隣接区域に対しての重点的な交付金の活用
 - 。 地域振興枠の住民ニーズに即した活用
3. 更なる機能強化後の環境対策を継続的に注視する。
 - 。 深夜・早朝時間帯の低騒音機の導入促進
 - 。 スライド運用など運航方法の確認
 - 。 騒音軽減に向けた新たな取組への提言



市役所で仕事中心

不定期開催となりますが、SNSなどで告知してまいります。→

お気軽にご参加ください。引き続き稲敷市と成田空港が互いに発展し、真の共生を実現できるよう取り組みます。

自民党新利根支部で成田空港視察

成田空港の現状や未来についてご説明いただき、大変勉強になりました。成田空港は航空、海上含め国内の港で貿易額No.1。航空では重量ベースでも金額ベースでも圧倒的なシェアを誇ります。この「隣にある巨大市場」を我がまちの活性化につなげたいですね！乗り遅れるな稲敷市！空港勤務時代の同僚たちも社内で重要なポジションとなっており、こちら身も引き締まる思いです。



空港の機能強化 ⇒ 旅客数や貨物量だけでなく従業員や観光客の大幅な増加 ⇒ 空港周辺地域に産業振興やインフラ整備、生活環境の向上など様々な効果をもたらすことが期待されます。

※まず新たな空港就業者のための住宅を整備し、稲敷に人口を呼び込みましょう。周辺地域はもう始めてますよ！

自民党新利根支部の皆さま、ご参加いただいた市民の皆さま、案内の空港職員の皆さまありがとうございました。

令和8年度稲敷市議会、3月と6月の一般質問から抜粋

染谷／定住促進区域の現状と、区域拡充の考え方について質問

行政の回答／定住促進区域（住宅防音工事等の助成地区）は、令和6年度から令和9年度までの4年間で実施しており、対象555世帯のうち221世帯（約39%）で工事が完了。まずは現在の助成事業を推進する。区域拡大の要望や飛行ルート等の意見については十分に認識、国土交通省や成田国際空港との事務レベルで情報共有を続けている。今後の防音対策の方向性については、事業終了となる令和9年度までには示したい。

染谷／「未来志向の空港都市圏創造フォーラム」に参加した感想について質問

行政の回答／年間発着枠を34万回から50万回に増やす「第2の開港プロジェクト」が実現した場合、旅客数は年間約4,000万人から約7,500万人へ、貨物量は約200万トンから約300万トンへ、従業員数は約4万人から約7万人に増加すると想定。この変化を本市の活性化に繋げる好機と捉える必要性を、改めて強く感じた。

染谷／空港との共生による雇用者向け住宅確保、公共交通整備、企業誘致等による財源増案について質問

行政の回答（市長）／令和8年度中の圏央道・茨城県内4車線化および千葉県全線開通により、空港へのアクセスが向上し、ヒト・モノの交流が増加する。「SORATO NRT エアポートシティ構想」のリバーサイドエリアとして、歴史資源を活かした産業・生活拠点を目指す。企業誘致については、企画監を中心に民間への直接アプローチを行っている。住宅面では、未利用地の住宅用地としての売却や、国

の交付金等を活用した市主体での住宅整備も検討する。

染谷／市長から新利根地区の住民へのメッセージを希望

市長／新利根地区は、市内でもっとも成田国際空港に近接している特性。空港や周辺工業団地に勤務する従業員の居住地として、また新たな雇用を伴う産業活性化の場として、非常に高いポテンシャルがある。

染谷／成田空港騒音対策交付金の活用と、住宅防音工事制度の見直しについて質問

行政の回答／区域拡大については、成田空港と協議しながら検討を進める。制度の見直しについては、関連自治体と同一内容であるため難しいが、市民からの要望は空港に伝えていきたい。なお、他自治体でも実施している工事实施10年後の空調設備の更新（市は令和10年度より該当）や、隣接区域の未実施世帯での工事については、引き続き成田空港と協議・実施を目指す。

染谷／早期からの英語教育導入と「英語教育特区」の申請について。

行政の回答／成田国際空港に近い地理的優位性を活かし、子どもたちが国際感覚を身に付けるため、早期からの英語教育は有効であると認識している。「英語教育特区」の申請については、発達段階を考慮し、まずは母語（日本語）の習得を基盤としつつ、既存の英語に慣れ親しむ環境の充実を図る方針である。

（ほか、江戸崎総合高校への航空関連の新学科導入、通学支援事業、生活インフラ維持、骨太方針2026の内容を想定した対応、デマンド交通導入に向けた広域連携、介護人材問題などを質問。・・・これらの詳細は議会だよりや稲敷市議会ホームページをご覧ください）

染谷久仁桂

1975年稲敷市柴崎生まれ。大学卒業後英会話学校、航空会社、空港職員を経て2022年初当選。空港では警備・保安の責任者として従事。TOKYO自民党政経塾第17期修了。深谷隆司塾長の温故知新塾を修了。自民党女性局女性候補育成コースを修了、論文で女性局長賞受賞。2026年自民党青年局優秀党員受賞。法学部3年に編入学、在学中。

現／議会だより編集委員長・市民福祉常任委員会副委員長・稲敷地方広域市町村圏事務組合議会議員

↓いつも心に！「温故知新塾 五誓」↓

- 1・日本を愛する人になります。2・歴史に学び今に生かす人になります。
- 3・学ぶことに喜びを感じる人になります。4・礼を重んじ相手を尊ぶ人になります。
- 5・日本を支えるリーダーになります。

コラム。――染谷は、なぜ「是々非々」の議員なのか――

私が「是々非々」の姿勢を貫く理由。その原点は、恩師である深谷隆司塾長から学んだ政治哲学にあります。塾で最初に投げかけられた言葉があります。「**今の政治家に聞きたい。命をかけて政治をしているか。**」この言葉は、私にとって今でも政治家としての原点です。政治とは、自分の立場や所属政党を守るためにあるものではありません。国民や地域の未来のために、自らの信念と責任を持って行動すること。その覚悟が政治家には求められるのだと教えられました。深谷塾長が語る「立党精神」とは、単に一つの政党の綱領ではなく、日本の政治が本来忘れてはならない理念です。第一に、**国を思う心（愛国心）**。政治家は私利私欲や党利党略ではなく、国家・国民のために尽くす使命感を持つこと。第二に、**保守の原点を守る**こと。日本の歴史、文化、伝統、そして皇室を尊重し、次の世代へ受け継いでいくこと。第三に、**武士道精神・道徳を重んじること**。「義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義」という日本人が大切にしてきた価値観を、政治家自身が体現すること。そして第四に、**公に尽くす政治**。政治は権力や名誉を得るためではなく、国民や地域社会に奉仕するためにあるという考え方です。これらは「愛国心を根幹に、日本の歴史・伝統・道徳を守り、公のために尽くす政治」という理念に集約されます。これは、**自民党創党時に掲げられた「自主独立」「自由と民主主義を守る」**という保守政治の原点にも通じるものです。だから私は、政党や会派だけを基準に賛成・反対を決めることはしません。市民の利益になるもの、未来のために必要なものには賛成します。一方で、市民の利益に反すると判断すれば、たとえ同じ立場の人が進めるものであっても反対します。**是は是、非は非**。その判断基準は、党利党略ではなく、「公のためになるか」という一点です。政治家は誰のために存在するのか。その問いに対する私の答えは、深谷塾長から学んだ政治哲学そのものです。私はこれからも、地域の未来と市民の暮らしを第一に考え、命を懸ける覚悟で、是々非々の政治を貫いてまいります。



深谷隆司塾長から修了証書

深谷隆司略歴／自民党東京都連最高顧問。幼少期に満州引き揚げを経験。その壮絶な体験と日本に辿り着いた時に強めた愛国心で政治家を志す。高校時代から弁論部で演説の腕を磨き大学でもバイトをしながら全日本雄弁連盟を立ち上げ。27歳で台東区議会議員に初当選。元通産大臣（以下元）郵政大臣、自治大臣、国家公安委員会委員長、自民党総務会長、予算委員長、テロ対策特別委員長を歴任。

・・・最後にもう一つ。民主主義は、最終的には多数決で物事を決めます。しかし**多数決は「議論を尽くした後の決定方法」**であり、最初から数で判断することではありません。十分な議論を重ね、一つひとつの政策を是々非々で検証するからこそ、多数決の結果に正当性が生まれるのです。そして**是々非々とは対立のための考え方ではありません**。市民の利益を最優先に考え、責任ある判断を積み重ねる民主主義の基本姿勢なのです。だからこそ是々非々の信念を貫きながら、市民の負託を力に変えて政策を実現する挑戦を続けたいと思います！